

『たくましさ』の自覚

昨年度まで当たり前に行っていた、1学期終業式が2学期制になったことで、夏休み前全校集会となりました。その中で、学校だよりの中に掲載しましたが、校長アンケートの結果を紹介しました。

「自分にはよいところがあると思うか」の問いに対して、「思う」「どちらかと言えば思う」の回答割合が85%、「学校に行くのは楽しいと思うか」の問いに対して、「思う」「どちらかと言えば思う」の割合が93%、「自分の住む地域に当てはまる思いはどれか」という問いに対して、「とても好き」「まあまあ好き」の割合が94%と、高い割合を示していると言える反面、今後、更に目を向けていくべきは、「あまり思わない」「思わない」と回答した生徒たちです。少しでも意識が向上するよう努力を続けていきます。

さて、今年度のスローガン「たくましさを示す北中生」についての質問です。これまでに「たくましさ」を示すことができたか、という問いに対して、「できた」「まあまあできた」の割合は87%でした。今年度からのスローガンであることから、なかなかイメージできないところがあったかもしれません。そこで、全校の前で4名の生徒に発表してもらいました。(以下がその抜粋です。)じっくりと自分の姿を見つめていることがわかります。4人とも実に堂々とした発表でした。

☆交流学級の授業で、発表が苦手で全く自分の意見が言えなかったけど、最近では自分から発表できるようになり、研究授業ではたくさんの方がいる中で発表できたのが、自信につながりました。(加藤 真人さん)

☆令和6年度が始まってから、体育大会や部活でたくましさを示すことができました。体育大会の二人三脚で、僕のグループは遅くしか走れなかったけど、諦めずに練習したら、最終的にとても速く走れました。絶対に勝ちたかったので、全力で諦めないという思いをもちました。(桑原 春希さん)

☆1つ1つのことを諦めず成し遂げられました。多分そこには「たくましさ」を意識したからこそできたと思います。また、学校の外でも諦めず行ったり、自分の意見をしっかりと話したりできました。いろいろなたくましさがあって、そのたくましさは、場合・場面によって違うけど、その場に合ったたくましさを見せられたので、今後さらに成長したいです。(保母 唯羽さん)

☆勉強に関して、いろいろと悩むこともあったけど、諦めずに最後まで粘ったから自分の納得する結果につながったところがあった。毎日、自分がコツコツと積み上げてきたものが、その時の自分を支えてくれたと思う。これからも毎日、地道な努力を積み重ね、より高みを目指していきたい。また、進路は自分で決めることだから、すごく悩んだ(今も悩んでいる)けど、その悩んだということで、自分がよりたくましくなれたと感じる。(中島 由偉さん)

